

【研究費区分】：新規領域創成型

【研究代表者所属】：都市教養学部 人文・社会系 国際文化コース

【研究代表者氏名】：山田昌久

【研究代表者氏名フリガナ】：ヤマダ マサヒサ

【研究代表者職】：教授

【国内研究分担者（所属,氏名,職）】

都市環境学部，地理環境コース，鈴木毅彦，教授

都市教養学部，理工学系生命科学コース，菅原 敬，准教授

都市教養学部，理工学系生命科学コース，黒川 信，准教授

都市教養学部，理工学系生命科学コース，江口克之，准教授

都市教養学部，理工学系生命科学コース，清水 晃，助教

都市教養学部，人文・社会系国際文化コース，歴史・考古学分野，源川真希，教授

都市教養学部，人文・社会系国際文化コース，歴史・考古学分野，谷口 央，准教授

都市教養学部，人文・社会系国際文化コース，社会人類学分野，石田慎一郎，准教授

システムデザイン学部，インダストリアルアートコース，楠見 清，准教授

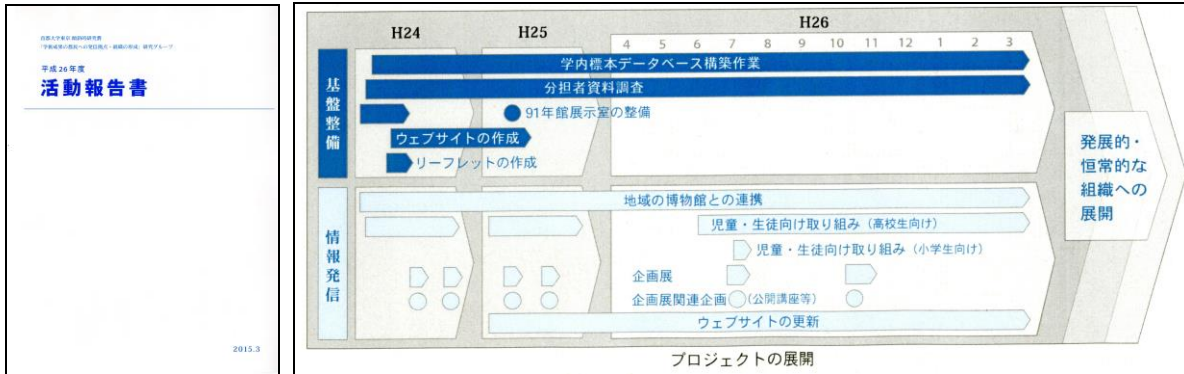
大学教育センター，小林加奈，特任助教

大学教育センター，村田昌則，特任助教

【国外研究分担者（所属,氏名,職）】無し

【研究課題名】：学術成果の都民への発信拠点・組織の形成

【研究実績の概要（600～800字程度で記入。図，グラフ等の使用も可。）】



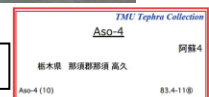
<http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html>

●平成26年度活動報告書(84頁)刊行。91年館ウェブサイトで3冊の年次報告PDF版を公開。

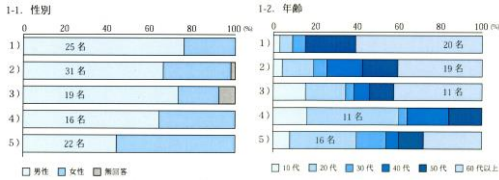
●平成26年度の学術標本データベースの構築部門では、①考古学研究室資料－実験考古学調査に伴う復元器具類のデータベース化，②国内外の代表的な火山灰（テフラ）試料（町田コレクション）目録作成，③牧野標本館が所蔵する藻類標本～藻類標本の整理と目録の作成～，④首都大学東京所蔵環境指標昆虫標本データベースの作成，⑤土方文書目録A・B（首都大学東京図書館蔵）の整理，⑥首都大学東京図書館所蔵、東京関係雑誌の整理と雑誌『都政』目録の作成，を行った（詳細は活動報告書参照）。



テフラ標本と管理ラベル



●企画展・公開講座等の実施 ①7月企画展・シンポジウム「“もにゅキャラ”考現学 まちのモニュメントになったマンガ・アニメのキャラクターたち」(インダストリアルアート分野担当), ②10~11月企画展・シンポジウム「伝統文化は誰のもの?—文化資源をめぐる協働を考える—」(社会人類学分野担当), 来館者アンケートの実施。⇒幅広い世代からの支持を得ている。



●地域博物館との連携 三多摩効率博物館協議会に加盟⇒活動案内掲載の参画, ポスターチラシの設置 見学受け入れ(博物館問題研究会 11月9日), 講演会への講師派遣(多摩地域博物館・資料館・美術館における防災と地域連携: 講師鈴木毅彦 10月30日)。博物館実習生受け入れ依頼。

●児童・生徒への発信 ①高校生向け大学説明会時の91年館展示室特別公開⇒教員学生による説明(7月20日90名・8月16日156名)。②小学生向け「夏休み自由研究応援企画」(7月21~30日60名)。周辺の都立小学校や博物館への案内・チラシ配布。

■首都大学東京

さんかしゃほしきょう  
**参加者募集**  
小学生向け

大学の先生にきてみよう!  
**夏休み 自由研究応援企画**

夏休みの自由研究のヒントを大学の先生が小学生の皆さんに特別にお教えします。下のテーマ以外の相談も大歓迎。参加をお待ちしております。▶参加費: 不要

2014(平成26)年

7/21 火・月 13:00 ~ 16:00	7/22 火 13:00 ~ 16:00
7/23 水 13:00 ~ 15:00	7/24 木 13:00 ~ 16:00
7/25 金 13:00 ~ 16:00	7/29 火 10:00 ~ 12:00
7/30 水 13:00 ~ 16:00	

対象学年や参加方法など  
[詳細は裏面へ▶](#)

主催: 首都大学東京「学術成果の普及への発信拠点・組織の形成」研究グループ

【お申し込み】首都大学東京 91年館 学芸員養成課程展示室  
〒162-8601 東京都目黒区南千代 7番1号 首都大学東京 南大流通センター  
TEL: 042-677-1111 (内線2941) URL: <http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html>  
※企画展期間中のご来館・観覧、大学の案内係員は学芸員の方ではございませんのでご了承ください。



配布したチラシ

- ① 都立小学校との連携
- ② 親子での参加



- 昆虫を調べる
- 土器を調べる
- 海の生物観察
- 等々力溪谷観察
- 植物標本作成

【学会発表(発表題目, 発表大会名, 年月を記入)】

- 山田昌久 臨床用MR装置を用いた出土木材の非破壊年輪計測 日本植生史学会第29回大会  
2014年11月
- 山田昌久 “木の考古学データベース”と古環境情報の質・量の変異 第15回関西縄文文化研究会  
2014年12月
- 鈴木毅彦 2013年10月に伊豆大島西側斜面で発生した表層崩壊と地形・地質の関係 日本地球惑星科学  
2014年大会 2014年4月
- 鈴木毅彦 上総層群のテフクロロジーに関する研究レビューと今後の課題 日本地球惑星科学2014  
年大会 2014年5月
- 菅原 敬 小笠原産ボチョウジ属植物の繁殖生態に注目した域内保全手法の開発に向けて 応用生態工  
学会 2014年9月
- 菅原 敬 Distyly, dioecy and monoecy in six species of Psychotria (Rubiaceae) in the oceanic and  
continental island groups in East Asia, International Conference on Island Evolution,  
Ecology, and Conservation, 7, 2014.
- 黒川 信 Comparative physiology of the autonomous movements of the gastrointestinal tract  
in mollusks, 11<sup>th</sup> International Congress of Neuroethology (2014 ICN/JSCP), 7, 2014.
- 黒川 信 Neural control of the rectum in the penaeid shrimp, *Marsupenaeus japonicus*, 11<sup>th</sup>  
International Congress of Neuroethology (2014 ICN/JSCP), 7, 2014.
- 清水 晃 (久留島宏明他6名との共同講演) ナミヒメクモバチ複合種群(クモバチ科)における隠蔽種  
の探索 日本昆虫学会第74回大会 2014年9月16日
- 谷口 央 伊勢・志摩両国の地震関連史料に見る被害の実態-宝永地震を中心に- 第2回前近代歴史地震  
史料研究会 2014年11月
- 村田昌則 東京都目黒区林試の森公園および品川区戸越地下の上総層群中に挟在するテフラ 日本第四紀  
学会 2014年大会 2014年9月

【論文発表又は著書発行(発表題目, 著者, 発表誌又は出版社, 年月を記入)】

- 山田昌久 考古学からみた森林利用の歴史『豊永郷文化通信』5 豊永郷民俗資料保存会 pp.9-13  
2014年4月
- 山田昌久 縄文時代に人類は植物をどう利用したか『講座日本の考古学4 縄文時代・下』青木書店  
2014年5月
- 山田昌久 実験考古学の世界-道具研究の最前線-『竹中大工道具館2014 常設展示図録』竹中大工道具  
館 pp.34-35  
2014年10月
- 山田昌久 “木の考古学データベース”と各発掘調査報告書における古環境情報の質・量の変異『第15回  
関西縄文文化研究会縄文遺跡データベースの作成と利用資料集』関西縄文文化研究会  
pp.13-14 2014年12月
- 鈴木毅彦 長岡信治さんのテフラ研究 月刊地球 36 巻7号 海洋出版社 pp.201-204 2014年7月
- 菅原 敬 奄美大島に産するボチョウジ属(アカネ科)植物の性 きよらじま No.23.24 pp.79-84 2014  
Shimizu, A., I. Dohzono, M. Nakaji, D. A. Roff, D. G. Miller III, S. Osato, T. Yajima, S. Niitsu, N.  
Utsugi, T. Sugawara and J. Yoshimura, Fine-tuned bee-flower coevolutionary state hidden

within multiple pollination interactions Scientific Reports Vol. 4:3988 Nature publishing group 2014.

- Sugawara, T., M. Yumoto, S. Tsuneki, and K. Watanabe Incompatibility and reproductive output in distylous *Psychotria boninensis* (Rubiaceae), endemic to the Bonin (Ogasawara) Islands, Japan. The Journal of Japanese Botany Vol. 89 pp. 22-26 2014.
- Watanabe, K., A. Shimizu and T. Sugawara Dioecy derived from distyly and pollination in *Psychotria rubra* (Rubiaceae) occurring in the Ryukyu Islands, Japan Plant Species Biology Vol. 29 The Society for the study of Species Biology pp. 181-191 2014.
- 寺山 守・久保田敏・江口克之 日本産アリ類図鑑朝倉書店 全278頁 2014年7月.
- Eguchi K, BuiTV, Yamane Sk Generic Synopsis of the Formicidae of Vietnam (Insecta: Hymenoptera), Part II-Cerapachyinae, Aenictinae, Dorylinae, Leptanillinae, Amblyoponinae, Ponerinae, Ectatomminae and Proceratiinae Zootaxa 3860(1) Magnolia Press pp. 1-46 9, 2014.
- Eguchi K, BuiTV, Oguri E, Maruyama M, Yamane Sk A new data of worker polymorphism in the ant genus *Dorylus* (Hymenoptera: Formicidae: Dorylinae) Journal of Asia-Pacific Entomology Vol. 17 ELSEVIER pp. 31-36 2014.
- Shin-ichiro Ishida Egalitarian conflict management among the *Īgembe* of Kenya, African study monographs, supplementary issue 50, The Center for African Area Studies, pp. 73-102 10, 2014.
- Njuguna Gichere, Stephen Mugambi Mwithumbu and Shin-ichiro Ishida eds. Culture in peace and conflict resolution within communities of Central Kenya Culture in peace and conflict resolution within communities of Central Kenya National Museums of Kenya 208p. 5, 2014
- 石田慎一郎 ケニア中央高地のミラー：イゲンベ地方における嗜好品産業の動員力 落合雄彦編『アフリカ・ドラッグ考：交錯する生産・取引・乱用・文化・統制』晃洋書房 pp. 129-198 2014 年5 月
- 石田慎一郎 Repaying Mortgages to Build More Houses: A Key to the Success of Habitat for Humanity's Project in Kenya 人文学報 首都大学東京人文科学研究科 2015 年3 月
- 谷口 央 谷口央編『関ヶ原合戦の深層』谷口央編『関ヶ原合戦の深層』高志書院 全226 頁 2014年11月
- 谷口 央 「徳川林政史所蔵史料」「尾鷲市立中央公民館内郷土室蔵史料」「志摩市歴史民俗資料館蔵史料」「田原市博物館蔵史料」『歴史学による前近代歴史地震史料集』基盤研究B「前近代の地震による家屋倒壊率と津浪到達点の研究-1707 年宝永地震を中心に-」2015 年3 月
- 源川真希 満州事変・日中戦争の勃発と立憲政治 『岩波講座 日本歴史17 近現代3』岩波書店 pp. 277-313 2014年
- 源川真希 (編集、執筆) 『週刊百科 新発見日本の歴史42 日中戦争 総力戦への道』朝日新聞社 全39 頁 2014年4月
- 小林加奈・村田昌則 ミュージアム多摩 No. 36 東京都三多摩公立博物館協議会 2015 年3 月

【科学研究費補助金への応募状況、採択状況】

●山田昌久

- ・既採択科研費
  - 科学研究費補助金 基盤研究(A)年輪年代学の総合的研究(分担,平成23~26年) 5,500(千円)  
鳴門教育大学
  - 科学研究費補助金 基盤研究(B)岩陰遺跡の環境考古学(分担,平成25~27年) 2,700(千円)  
総合研究大学院大学
- ・応募
  - 科学研究費補助金 基盤研究(B)実験考古学による技術と資源利用に関する研究 19,000(千円)

●鈴木毅彦

- ・既採択科研費
  - 科学研究費補助金 基盤研究(B)火山灰・古地磁気編年による東北日本弧内陸盆地・海岸域における第四紀地形発達の研究(代表,2013~2016年度)

●黒川 信

- ・既採択科研費
  - 科学研究費補助金 基盤研究(C)消化管系の連動運動の中核および末梢神経機構(代表,2013~2015年度)

●江口克之

- ・既採択科研費
  - 科学研究費補助金 基盤研究(B)社会構造の地理変異から究明するアリ類におけるカスト特殊化の進化と意義(分担,2012~2014年度 代表:伊藤文紀)

●清水 晃

- ・既採択科研費
  - 科学研究費補助金 基盤研究(C)クモバチにおける原始社会性の起源:メス間の社会行動の特性とその進化的意義(代表,2013~2016年度)

【国等の提案公募型研究費,企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

- 山田昌久・東京都高度研究 アジア地域の風土と社会に根ざした持続可能都市建築の構築・分担 900(千円)

【受賞等】

・

【その他社会貢献】

【公的審議会・委員会等の公的貢献,生涯学習支援・普及啓発,国際貢献・国際交流等】

- 山田昌久・国史跡整備委員等(岩手県御所野遺跡・千葉県井野長割遺跡・東京都下布田遺跡・石川県真脇遺跡・大分県横尾貝塚・佐賀県東名遺跡)
  - ・生涯学習支援・啓蒙啓発(博物館運営委員・解説準備委員・展示委員=竹中大工道具館新設展示委員10月開館,福井県若狭町鳥浜縄文博物館,金沢市縄文文化館展示検討委員)
  - ・講演会(招待講演=佐倉市井野長割遺跡国史跡十周年記念講演・新潟県越後国開設1300年記念リレー講演・福岡市埋蔵文化財センター考古学講座・大分市歴史資料館企画展記念講演・鳥取県妻木晩田史跡公園弥生の森講座・岩手県滝沢市埋蔵文化財センター考古学講座港区郷土資料館考古学講座)
  - ・普及啓発(新聞掲載=中日新聞5月10日 飛騨における縄文時代の木の実保存について  
北陸中日新聞7月11日 能登における縄文時代の植物繊維技術について)

朝日新聞・読売新聞他 1月23日 縄文時代出土建築材へのコメント

- ・国際交流 出土木器研究会 韓国集会江原道鰲山里歴史資料館
- 鈴木毅彦・国土交通省国土地理院 治水地形判定委員会委員、法務省 司法試験予備試験考査委員、東北中央自動車道白竜湖軟弱地盤対策検討WG アドバイザー、ミュージアムパーク茨城県自然博物館助言者会議 研究助言者、一般社団法人日本地球惑星科学連合 代議員、日本第四紀学会 評議員、日本第四紀学会 会計監査、日本地質学会 編集委員会委員、日本地理学会 災害対応委員会委員、Island Arc誌 Member of Editorial Advisory Board International Focus Group on Tephrochronology and Volcanology (INTAV) of INQUA (International Union for Quaternary Research): Vice President
- 菅原 敬・八王子市文化財保護審議会委員、文部科学省教科用図書検定審議会委員（生活科）
- 黒川 信・社会人対象宿泊型「野外講座」を八丈島、伊豆大島、神津島で計3回実施した。（東京都八丈支庁または大島支庁、大島町、神津島村または八丈町との連携）
  - ・八丈島民対象の公開講演会を1回企画実施した。（東京都八丈支庁、八丈町との連携）
  - ・島しょ農林水産総合センターとの東京都伊豆諸島沿岸海洋環境に関する共同研究（受託研究）を継続した。
- 江口 克之・日本分類学会連合役員（庶務担当）、国際学術誌 Myrmecological News (Impact Factor: 2.644) 編集委員会顧問、鹿児島大学総合研究博物館 学外協力研究者、八王子市・市史編さん室への標本写真提供（「新八王子市史自然編」へ掲載）
- 清水 晃・日本昆虫学会・自然史学会連合担当委員
- 谷口 央・三重県史近世部会専門調査員、愛知県史織豊部会調査執筆委員

**【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】**

(工業所有権の名称,発明者,権利者,工業所有権の種類・番号,出願年月日,取得年月日)

**【研究分担額】**

(研究代表者・分担者名,所属,金額(円))

- ・山田昌久(研究代表者) 都市教養学部 人文・社会系 国際文化コース 4,080(千円)